



# 市長と

# 車座トーク

## 第21回 津之郷学区（概要）



開催日時 2017年（平成29年）5月16日（火）

19:30～20:45

開催場所 津之郷公民館

参加者数 10人

次 第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### <車座トークでの主なご意見>

- ・津之郷はJR山陽本線，新幹線，国道2号線，県道御幸松永線，山陽自動車道という5本の交通網が横断する。県道山手赤坂線も工事中で，スマートインターチェンジの設置に付随した都市計画道路や津之郷瀬戸幹線の拡幅もある。福山西環状線も計画されている。全てが完成すると，津之郷は住みやすい場所ではなくなるのではないかと。行政の考えをお聞かせ願いたい。計画的，秩序だったまちづくりが必要だと思っている。生活道路の整備を要望する。
- ・青少年育成協議会では，毎朝声掛け運動等をしている。田福地区に見通しの悪い五叉路の交差点があり，子どもはそこを渡らないといけない。スマートインターチェンジの設置により交通量も増える。信号機か，それに代わるものがあれば事故を防げと思う。
- ・津之郷学区の老人クラブの加入率は35.1%だ。高齢者は健康，お金，孤独という大きな不安を抱えていると言われるが，老人クラブの活動には，お金をかけないで楽しめる事がある。子どもの見守り，環境美化，伝統芸能の継承やボランティア活動等による利他の側面もあり，

達成感、感動を仲間と共有でき、日々前向きに明るく過ごす事が出来るようになると思う。老人クラブの会員増と、地域福祉の一層の充実に努めなければならない。行政としても、高齢者施策の検証、評価の中で、気づきがあればご指導いただければ有難い。

- ・ばらは5月だけのものではない。ローズマインドは5月だけのものではないという事を、市役所職員さん、肝に銘じていただいて、我々と一緒に運動として展開できればと思います。
- ・津之郷学区には女子のフットベースボールがなく、ソフトボールのみ。ソフトボールのメンバーは男子が10名、女子が5名の15名で週2日の練習に取り組んでいる。しかし、大きな大会は女子の参加人数が3名までとなっている。一生懸命練習しているのに試合に出られないような人数制限がある事には、保護者からも疑問があがっている。検討していただきたい。
- ・津之郷学区では、子ども会の加入率は90%。9つある子ども会それぞれで、祭りや夜店、歓送迎会などの大きなイベントを実施しており、活発であるからだと思う。これからも活動を積極的に行っていこうと思っている。
- ・里山里地の支援事業は、山手津之郷も5年が経過している。県、市からの支援を受けて整備が進んでいるが、昨年度末で資金援助が打ち切りになり、今後の活動は地元負担でやっていかなければならなくなった。資金確保のために農作物の作付けを行い、栽培しているニンニクを給食に入れたいと思う。地産地消を推進する立場から、消費の拡大と、価格の安定を図っていただきたい。福山サービスエリアを活用して、里山里地を全国に発信していきたい。山手津之郷の里山里地が、他の地域のモデルになればいいと思っている。
- ・体育会では、年間10回程度行事を組んで活動している。町民の体育活動の推進や、親睦を深めるというのを目標に町民全体でやっている。課題は、若い町民の方の参加が減っている。一方で、参加人数が減らない行事もある。毎年元旦に、約400人程度が石鎚山に登って、初日の出を拝んでいる。また、5月に学区のソフトボール大会があり、もっと強くなりたいという希望で、6月から月に2回練習しようという事になっている。それをきっかけにして若い人が集まって仲間作りが出来ればと楽しみにしている。30代、40代が中心になって動いてくると、体育会の活動も盛んになる。他の市内の特徴的な取組があれば聞かせて欲しい。
- ・公立の小・中学校の普通教室に空調設備を設置してもらいたい。昨今の天候で、子どもたちが授業中でも気分が悪くなって保健室に行くという状況を聞いている。福山市の普通教室の空調設置率は3.6%だ。環境のいい場所で勉強するのと、暑くて気分が悪くなるような場所で勉強するのでは全然違うので、考えてほしい。
- ・中学校給食は今年になって何校か始まっているものの、早いうちに公立の中学校は全部給食制度にしていただけたらと思う。
- ・津之郷学区ボランティアの会では、子どもをサポートするというのを主にやっている。保育所では、一緒に遠足に行ったり、餅つきの手伝いをしたりしている。小学校では、1年生には昔の遊び、2年生には草木染め、3年生には干し柿づくり、4年生は広告紙をこよりにして、籠をつくるリサイクルの勉強、5年生はしめ縄作り、6年生は絵手紙の作成などを行っている。
- ・昨年イノシシの被害が多い。市の補助を受けて箱ワナを作ったが、もう少し負担していただければと思う。手続も難しい。市役所が作った箱ワナの貸出もあるということも聞く。

- ・交通手段の補助があればと思う。津之郷にはスーパーがなく、高齢者が買い物に行けない。高齢者は移動スーパーを利用しているが、高いと思われる方もいる。お出かけ乗車券を非課税の方に配っているが、平等ではないという方もいる。見直しも必要ではないか。
- ・孤独死という問題がある。仕事として、75歳以上の方を見守っているが、それ以下の年代でも一人暮らしの高齢者が多い。孤独死の現場を目にしたり、聞いたりすることもある。皆様に協力してもらっているが、一人暮らしの方も増えてくるので、しんどいところだ。
- ・88歳の米寿と、99歳の白寿のお祝いは、一般記念品プラスお祝い状と額縁が記念品になっている。額縁が一番大きい。やめてほしい。実用的なお祝いの言葉をプリントした3セットのタオルか、バスタオルを贈呈いただけるように改定していただきたい。

### <市長のまとめ>

- ・交通網の結節点にある津之郷地区においては、道路ができる事の良い点、悪い点、それぞれあると思う。地元の皆様と協議し、一定の理解のもとで、こういう道路網計画が出来てきた。着実な整備に努力しており、おかげさまで計画は順調に進んでいる。地域で考えるまちづくりを、行政がサポートしていきたい。山手橋から続く山手赤坂幹線の道路を西に伸ばすことについては、残念ながら、県道の整備計画には入っていない。整備に向けた地元の意向が確認できれば、県に改めて要望していきたい。県に位置付けられれば、そういう事業の可能性が出て来る。
- ・田福地区の交差点について、危険箇所や修理が必要な箇所については、地元の方や警察を交えて2年に一回総点検をしている。安全確保のための様々な取組も含めてやっていく。県道津之郷山守線については、県が道路拡幅や退避場所をつくって危険を和らげるという取組をしている。現地を見て、これまでの整備が危険回避に効果的なのかを、もう一度確認したいと思う。
- ・高齢者が一番気を付けなければいけないのは、人間関係が希薄になること。女性は地域の人間関係を維持しているので良いが、男性は会社から地域への順応を上手くしないといけない。行政も高齢社会における健康長寿をどう実現していくかということは、課題として取り組んでいる。全国の先行事例等を参考にしながら、津之郷学区にあった取組は何かを聞きながら、取り組んでいきたい。孤独になれば、食の心配もある。男性は弱い。食の栄養バランスをどうサポートするか取り組んでいるが、さらに強力な取組をしていきたいとも思っている。
- ・ソフトボール大会の男女の制限ですが、これは行政が決めているルールではなくて、子ども会育成協議会が中心になって考えているルールだ。子ども会育成協議会で議論していただく事になる。地域や年々によっても、子どもの男女比率は変わる。好きなスポーツを楽しめるように、子ども会育成協議会に要望していく。
- ・子ども会の加入率が90%というのは市内で最高かもしれない。単位子ども会ごとに行事をする事が、加入率の維持に繋がっているという話だが、他の学区の悩みは、そういう行事に保護者が参加してくれないということ。子どもは参加したくても、家庭の事情があって出られないということが多い。なぜ行事に保護者が参加しているのか、知りたい。改めて伺いたい。
- ・地域が主体的に里山里地を守ろうと色々なチャレンジをしているという話を聞いて、元気づけられた。行政で何が出来るのか考えたいと思う。例えば、農作物を育てて、販売につなげるよ

うなノウハウが必要だという事であれば、行政の農林水産部、JAにも協力を申し入れたい。福山サービスエリアに地場産品を置いて、名前をPRしながら、収入の一部に充てていくというような取組についても一緒になって可能性を探っていきたい。是非とも活動を維持して欲しい。助成、補助金というのが必要な時もある。県にも支援策があるかどうか勉強する。また、里山里地を守るための取組を支援する協賛企業リストを作りつつある。企業が農作業に必要な資機材の貸出などをする取組がある。津之郷では、これが必要だというのがあれば伝える。里山里地を守っていく取組をさせて欲しい。

- 他の体育会の取組は、後ほど改めて事例をご紹介したい。参加を高めるには、子どもと一緒に楽しめるスポーツという所にヒントがあるのかもしれない。登山ばかりやっているわけにいかないということだが、津之郷といえば登山だ、とか、一つの種目・分野に特徴を見出すような体育会があつていいかもしれない。
- 普通教室への空調の導入率は、全国平均でも36.8%。それに対して福山市は3.6%。空調設置だけを見れば遅れているが、別の所では進んでいる所もある。全体を見ながら教育環境を整備していきたい。優先的に整備しているのは、耐震化、トイレの洋式化、パソコンの増設です。
- 中学校給食の完全実施をお約束したが、一定の年月をかけなければならない。いずれ全体計画をお示しします。
- イノシシについては、それぞれの地域が頭を抱えている。他の市町に比べて福山市の助成率が低いかと言えばそうではない。地元負担がない方が良く思うだろうが、行政と地元とが分担をして負担をしていかなければならないということをご理解していただきたい。箱ワナの貸出については、お役に立てる事があればやります。
- お出かけ乗車券は、経済状態にあわせてお配りしているが、地域の様子が変わり、交通手段がなくなり、出かける手段がないという問題は随所で出てきている。どう高齢者の交通手段を確保するかについても取り組んでいる。移動スーパーについても、どれだけ行政が支援するのか、全国の実例をみながら、研究していきたい。また、免許返納をした時の支援は福山市にはない。さらに言うと、免許返納時に運転経歴証明書の申請をすると、千円かかる。県には相談をしていかなければならないし、市も何ができるか考えたい。
- 福山市と日本郵便とで協定を結んだ。見守りについて、日本郵便が協力をしてくれるという事になった。民生委員さんが持っている情報とかを色々教えてもらう事で、重点的効果的な見守りにつなげていこうと思います。
- 額縁はもらっても煩雑という事ですね。皆様方に聞きながら、より喜ばれるようなものを考えていきたいと思います。

### <地域からのあいさつ>

お忙しい中ご苦勞様でした。市長と話す事はないし、距離があるような感じがしていたが、今日お会いして話をしてみると行政が身近に感じられるようになった。これっきりで終わらず、毎年やるとか、もうちょっと時間を長くする等してもらいたい。